

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

手術室の効率的利用の点からみた小児鼠径ヘルニア手術の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年10月から2022年10月までに昭和大学横浜市北部病院小児外科で鼠径ヘルニアの手術を行った患者さん

2. 研究目的・方法

近年、医療の分野でも働き方改革が進みつつあります。特に手術室は多くの人員が関与するため、より効率的な手術室の利用は同改革に重要と考えられます。鼠径ヘルニア(以下、本症)手術は小児外科でもっとも多い手術のため、本症手術で効率的に手術室を使用することは、小児外科医ならびに手術室スタッフの働き方改革に寄与する可能性があると考えられます。

本症の手術はおもに鼠径部に皮膚切開をいれてヘルニア嚢を結紮処理する鼠径法と、鏡視下に腹膜外腔で内鼠径輪に結紮系をかけヘルニア門を閉鎖する腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術(Laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure: LPEC法)が行われています。鼠径法とLPEC法の比較検討は多くなされており、LPEC法は鼠径法と比べ、入院期間、再発率、片側例の手術時間に差が無く、対側発症が少なく、男児両側では手術時間が短いとされていますが、手術室の効率的利用の点から見て本症術式を比較検討した報告はありません。

今回、手術室の利用時間などを調査し、鼠径法とLPECの2つの術式を比較検討し、手術室の効率的利用の点から見た本症術式選択について検討します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの年齢、性別、術前診断、術後診断、手術方式(鼠径法またはLPEC法)、在室時間(入室から退室までの時間)、入室から執刀までの時間、手術時間、手術終了から抜管までの時間、麻酔時間、

抜管から退室までの時間、術者の小児外科学会専門医の有無

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究代表者	昭和大学横浜市北部病院	小児外科	杉山彰英
研究分担者	昭和大学横浜市北部病院	小児外科	田中 拡
	昭和大学横浜市北部病院	小児外科	安藤晋介
	昭和大学横浜市北部病院	小児外科	八木勇磨

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院小児外科 氏名：杉山彰英

住所：〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号： 045-949-7130（小児外科外来）